

シールズ琉球始動

戦争法案反対

沖縄でも戦争法案反対の運動を若者の間で広げようと、沖縄県の若者のグループが「SEALDS RYUKYU」を15日に設立、記者会見を那覇市内で行いました。

結成の中心になった元山仁士郎さん（国際基督教大生）、玉城愛さん（名桜大生）、名嘉一心さん（沖縄国際大生）らが会見に臨みました。

元山さんは、設立の日を15日としたのは、終戦の日だからとのべ、「現在メンバーは十数人。自分たちが思っていることを話せるような場になりたい」と語りました。全国のSEALDS（自由と民主主義のための学生緊急行動）と連携して運動を広げていきます。

「戦争法案」に反対する理由について、元山さんは、▽立憲主義をないがしろにする▽国会審議での政府の説明は不十分で、国民と真摯（しんし）に向き合っていない▽米軍基地の集中する沖縄に暮らす私たちの生活をよりいっそう脅かす可能性がある」と説明。米

設立の記者会見をする（右から）元山さん、玉城さん、名嘉さん＝15日、那覇市

基地集中の島で



軍基地を抱える沖縄が朝鮮戦争やベトナム戦争などに加担してきた歴史にふれ、「新たな軍事基地を絶対に造らせない」という覚悟を持っている」と決意を述べました。

名嘉さんは「安保法制を議員の議論だけで決めていいのか。僕たち若者も声を上げてい

かなくても、玉城さんは「若者の中で米軍基地のことを話題にするのはタブーになっているようなところがあり、打ち破りたい」と話しました。

当面、23日に北谷（ちやたん）町美浜で「戦争法制反対」の緊急アピール行動を計画しています。

8/16 赤旗